

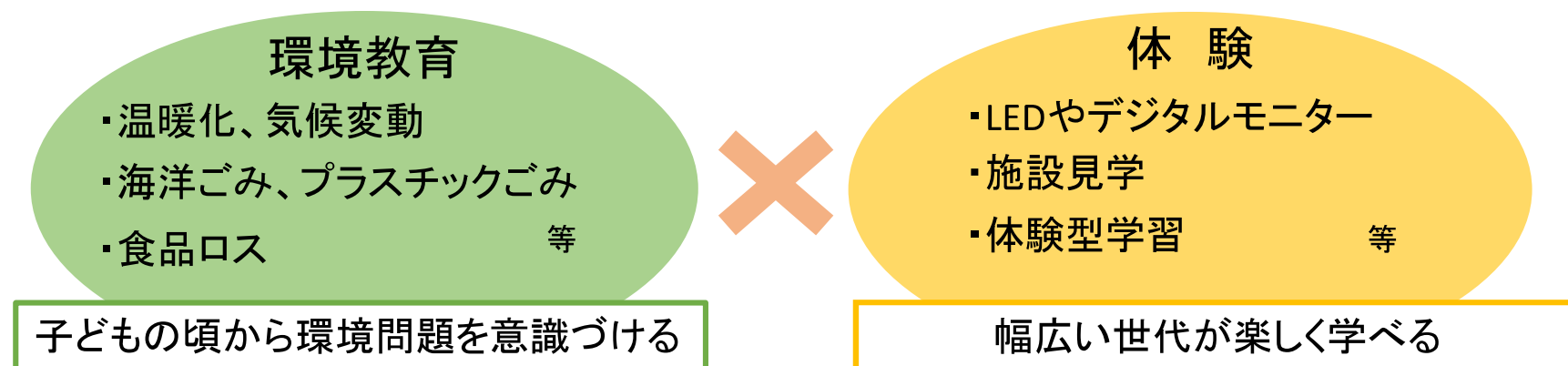
資料2 新たな条例及び施設イメージ

1 新たな条例について

ここでしかできないオリジナル性を方向付けるための、新たな条例。

旧条例	新条例(案)
<p>廃棄物の再利用や減量</p> <p>⇒ ✖ 廃棄物の再利用等に関することに制限された事業展開 (会議室等の貸出を含む)</p> <p>✖ インターネットやスマートフォンの普及により、対面での情報発信に替わり、YouTube・Instagram等のSNSの重要性が増大</p>	<p>自然と環境に優しい、脱炭素社会への実現</p> <p>⇒ ○ 廃棄物の再利用や減量に加え、SDGsやゼロカーボンなど、社会情勢を踏まえた創意工夫による新たな事業展開</p> <p>○ 新たな事業展開による利用者満足度の向上や来館者数の増加</p>
<p>利用料金の設定なし</p> <p>⇒ ✖ 歳入増は見込めない</p>	<p>利用料金制度を導入</p> <p>⇒ ○ 子どもの体験スペースや専用利用できるスペースのみ料金制度を導入し、歳入増を見込む</p>

2 施設イメージについて



環境について楽しく学び、親子で安心して利用できる施設

資料3 委員意見書の結果について

項目①から③については概ね賛成の意見が多かった。主な意見については次のとおり。

① 新条例の設置目的について



市民が集まれる施設に

時代変化に対応

わかりやすい言葉で

新しい設置目的も限定的では？

目的と施設名称に違いがある

今までとの違いを明確に

SDGsの要素も

④ その他参考意見



魅力的なイベントは積極的に検討を

アクセスが悪い バス停はできる？ 地の利を活かす

新たな人流に期待 可能性がある自治体 オリジナル性を持たす

ここでしかできない、ここだからできる事業展開に期待 廃材の再利用

コンセプトやプロジェクトを参考にしてもいいのでは 市民が楽しむことのできる施設

環境やデジタル、体験教育、子育て様々な分野で楽しめる施設に期待

お金や時間をかけなくても取り入れるものもある 現在の施設について周知不足

環境問題等の課題は子どもの頃からの体験や意識づけが必要

② 事業内容について



再生品の販売展示は市民ニーズがあるのでは？

この施設ならではの何かが必要

文化・市民活動に違和感

他施設との住み分け

具体的なイメージは？

キーワード

【設置目的の表現】

・今までとの違いを明確に
・わかりやすい言葉

【施設の機能】

廃材の再利用など
資源循環型社会を意識

【施設の機能】

有料と無料の
区分け

【設置目的の内容】

SDGs等や時代の変化に
対応している内容

【施設の機能】

様々な分野で
楽しめる施設

【施設の機能】

市民が集まれる
場所

【施設の事業】

オリジナリティが
必要

【施設の事業】

料金に見合った
魅力が必要

【施設の事業】

子どもを対象とした
体験や意識づけ

【施設の事業】

他市の魅力的なイベント・
コンセプト・プロジェクトを検討

【施設の事業】

需要のある
事業の継続

【課題】

施設目的にあった
新しい名前を

【課題】

情報発信

【課題】

アクセス

【期待】

立地・人流

③ 料金制度の導入について



施設の事業内容の充実度による

施設に料金を払うだけの魅力がないと

貸館やイベント参加費に限定したほうがいい

施設に応じて徴収

他施設と同じくらい

低料金が望ましい

入館料については来館のハードルになる

お金を払っている以上施設をしっかり利用してもらえる

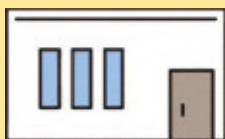
有料と無料スペースを設ける

学校の教育活動に減免を

【近年の動向】

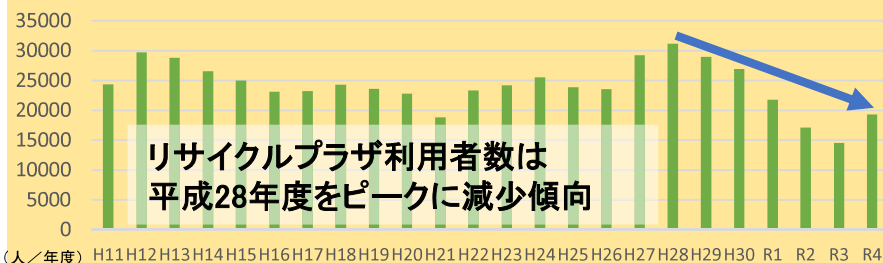
- R3.3 「苫小牧市プラスチックごみゼロに向けた挑戦」を宣言
- R3.8 「苫小牧市ゼロカーボンシティ」宣言
- R4.10 環境省「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金(重点対策加速化事業)」交付決定
- R5.3 「苫小牧市第4次環境基本計画」策定
- R5.4 「ゼロカーボン×ゼロごみ大作戦！」開始
- R5.7 市内で「再エネ水素サプライチェーンを構築する実証事業」が採択
- R7.3 「苫小牧市生物多様性地域戦略」策定予定

【地域の声】



- 学習できるように整備してほしい
- 小学校4年生がまた来たいなと思える施設
- 子供が楽しめて何回も行きたくなる施設

・当時から現在は……



現在の施設

【調査】

- 2階ホールをもっと有効に活用できるのでは？
- 総合計画の意識調査では新型コロナウイルス感染症対策に次ぐ関心のある課題として「環境問題」が挙げられている
- 苫小牧の東地区には、様々な施設が充実している。何かに特化しなくてはならない
- 次世代市民への教育的な施設のづくりがよいのでは…

展開

テーマ

持続可能な環境教育の推進

・そのためには……

新たな条例が必要！

現在の条例では、設置目的や事業に制限がある。今後は、ゼロごみに加え、ゼロカーボンやSDGs等の様々な環境問題をテーマに、自由度の高い事業展開を可能にするため、設置目的を含め、抜本的な見直しを図る。

資料5 施設活用の可能性について

1 施設利用者数の想定

- 他市類似施設では、人口数と利用者数に一定の関係性があり、苫小牧市に当てはめるとき
- 年間利用者数想定 …… **約38,000人**
- 現在の年間利用者数(平均) …… **約25,000人**
- 本施設の潜在的需要 …… **約13,000人**

2 立地上の強み

- 豊かな自然環境
- 環境関連施設が集積
- 交通量が活発
- ダブルポートからのアクセス良好

